



うえのきたしょう 上野北小だより

だいごう 第10号 2023(R5).11.29

はっこうしゃ 発行 者 校長 田中 ともひこ 智彦

人権コンサート = 咲かせよう笑顔の花 =

10月28日(土)に、授業参観を行い、その後、13時45分から本校体育館にて本校PTA と長田・新居両地区の住民自治協議会と人権啓発草の根運動推進会議との共催で、人権講演会を行いました。本年度は人権トーク&ライブとしてKLGに来ていただくことになったので、全校児童も参加することとしました。普段は社会福祉法人維雅幸育会の「ふっくりあ」などで働かされているKLGの小池千鶴子さんと水谷展子さん。お二人の軽快なトークと、子どもたちもよく知っている歌等を披露していただき一緒に歌ったり手拍子をしたりと、あたたかい雰囲気の中で素敵な時間をともにする事ができました。「自閉症」のことや、お互いに得意な事が違うからこそ助け合っていることなど、子どもたちにもよくわかるようにお話しいたしました。子どもたちの感想をいくつか紹介させていただきますので、ご覧ください。準備、後片付け等も行っていたいただき、ありがとうございました。



知っている音楽もあつたり無かつたりしていても、手をたたいたりしていたから、知らない音楽も楽しかった。YMCAが楽しかった。2人で助け合っているのがすごいと思った。

記憶力がすごく良かった。声がきれいだし、自己紹介もすごく具体的に言ってくれました。

KLGさんの話を聞いて、「おぎなう」という言葉を学びました。「おぎなう」という言葉は、相手の足りないところを助けて、そして相手からも自分の足りないところを助けてもらうこと。

YMCAが楽しかった。歌がうまくてすごい。障がいがあるとできないことが多いと思っていたけど、歌うこととか振付とかできるのがすごい。障がいがあるのもないのも関係ないと思った。

お互いに足りないことを補い合っていた。このクラスでも同じで、できないことはひとに助けを求め、困っている子がいたら声をかけ合う。

自閉症という障がいがあってもできることがたくさんあって、すごい。わかりやすい話だった。障がいがあっても自分でできることをみつけて、それをがんばって続けているのがすごい。

二人それぞれ得意なこと・苦手なことがある(カレンダーの日付をよく覚えてる。忘れっぽい。)。お互いにもないものを補い合っている姿が素敵。

がくしゅうはっぴょうかいけんぶんかげいじゅつはけんじぎょう

学習発表会兼文化芸術派遣事業

11月15日(水)に、^{がくしゅうはっぴょうかいけんぶんかげいじゅつはけんじぎょう}高学年の学習発表会兼文化芸術派遣事業を行いました。^{おこな}本年度は、^{ほんねんど}文化庁による^{ぶんかげいじゅつはけんじぎょう}文化芸術派遣事業で、^{もと}THE BLUE HEARTSの元ドラマー^{かじわらてつや}梶原徹也さんに来ていただき、^{きゅうながたしょうがっこうじだい}旧長田小学校時代に行っていた「^{おこな}タイヤ太鼓」を^{だいこ}指導していただきました。この派遣事業は、^{げいじゅつか}プロの芸術家に来ていただき、その^{えんそう}演奏や^{たいけん}体験から^{じょうそうめん}情操面も^{ふく}含めた^{まな}学びを^{ふか}深めるねらいがあります。これまで、^{かいき}3回来ていただき、^{すべ}全ての学年に^{がくねん}打楽器の^{だがつき}楽しさを^{たいけん}体験させてもらったり、^{しどう}指導を^{かじわら}してもらったりしました。梶原さんによる^{えんそう}プロのドラム演奏にも^{きかい}ふれる^こ機会となり、^{おんがく}子どもたちは^{せかい}音楽の世界を^{たんろう}堪能することができました。^{がくねん}高学年の^{だいこ}タイヤ太鼓も^{はくりよく}迫力満点で^{まんでん}素晴らしい^{すば}仕上がりになっていました。

10月18日(水)には^{がくしゅう}低学年、11月1日(水)には^{がくしゅう}中学年の^{はっぴょうかい}学習発表会も行いました。これも、^{おこな}集合型による^{しゅうごうがた}上野北小学校初の^{うえのきたしょうがっこうはつ}学習発表会。これまで^{がくしゅうはっぴょうかい}コロナ禍により^か集合型で^{しゅうごうがた}行うことができなかったのですが、^{おお}多くの^{ひと}人の^{まえ}前で^{えんぎ}演技したり^{うた}歌ったりする^{けいけん}経験も、^こ子どもたちにとっては^{たいけん}かけがえのない^{つうかん}体験であると、^{きかい}痛感する機会となりました。^{いそが}お忙しい中에서도、^{なか}多数、^{たすう}ご^{さんかん}参観いただき、^ありがとうございました。

多くの人との出会いの中で

^{がつき}2学期にそれぞれの^{がつきゅう}学級で、^{やくぶつらんようぼうしきょうしつ}薬物乱用防止教室、^{でまえじゅぎょう}LIXIL出前授業、^{ぼうしきょうしつ}JICA、^{しゃかいふくしきょうぎかい}ヒューリアみえ、^{であ}いじめ防止教室、^{がくしゅう}社会福祉協議会、^なバリアフリースポーツスクラム等々、^{などなど}人との「^{ひと}出会い学習」を^{かずおお}数多く取り入れて^いいます。その^{みち}道の^{プロ}や^{けいけんしゃ}経験者から^{まな}学びを^{ふか}深めることは、^{かけがえ}のない^{たいけん}体験になると^{かんが}考えています。



ブレイクタイム

いつものように^{きゅうしよく}給食の^{じかん}時間に^{かくきょうしつ}各教室を^{まわ}回っていると、^{こがくねん}高学年トイレの^{まえ}前で^{じゃが}んでいる^こ子がよく見ると、^{きれ}い^にスリッパを^{なら}並べていました。「^ありがとう。^{きもち}気持ちいいね」と^{こえ}声をかけると、「^{いつ}もやっているよ」と^{へんじ}返事が。^{ちか}近くと^と通った^こ子も、「^{ぼく}僕もしています」と。^{つか}使う^{ひと}人の^{こと}事を^{かんが}考えた、^{さりげ}ない^{こうどう}行動に、^あた^たかさと^{きもち}気持ちよさを^{かん}感じました。

